

令和2年8月号

vol. 137

料金後納

ゆうメール

にしじま通信

編集者 西島 由紀恵

こんにちは^^ 毎日残暑が厳しいですね。体調はいかがですか。

あまり無理しないでくださいね。

先日、三方五湖のひとつ「水月湖」に行ってきました。

水月湖は「奇跡の湖」と言われてるんですよ。7万年もの年縞が、綺麗に残っているからです。

(※年縞とは湖底に堆積した地層のことを指します)

年縞は網走湖(北海道)や深見ノ池(長野県)など国内外でいくつか発見されていますが、7万年もの連続した年縞は世界で水月湖だけなんだそうです。世界標準のものさしにも採用されました。



水月湖クルーズで年縞を取り出した立命館大学地質学者 中川先生のお話を聴きました。



7万年分の年縞。45メートルにも及びます。(年縞博物館)

水月湖の年縞を取り出した“年縞博物館”に足を運んでみてはいかがでしょうか。とっても神秘的でしたよ。(写真左)

今は県外にはなかなか行けない時期ですからね。福井県内をあちこち散策しております。

余談ですが、近くに、ケンミンショーで紹介された「ドライブインよしだ」(イカ丼が有名)があるんだけど超激混みでした🌸

〒919-0621 あわら市市姫 5-6-33

西島木材株式会社

にしじまりフォーム

西島和之一級建築士事務所

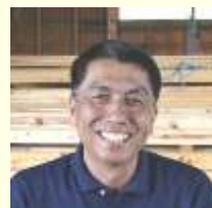
0120-430-156

西島木材

検索

～社長の一言～

リフォーム現場で、元々のお宅で使われていた樺の框を再利用しました。お施主様のご要望でもありました。その樺を電動丸鋸で伐ると、非常に硬い木のため、煙が出ました。樺はこういうことがよくあります。電動工具のない時代、先人たちは、どうやって削っていたんだろうかと、いつも想像してしまいます。果てしない時間と労力を要したに違いありません。そういう材を再利用することは大事なことだと思っています。



「にしじま通信」は弊社をご利用くださいました方にご郵送させていただきます。必要のない方は、ごめんどうですが、どうぞご一報くださいませ。

「古材」のベンチ



「福井県年縞博物館」に行ってきました。
こちらの館内のあちこちに置かれているベンチは、弊社が納めさせていただいた古材です。築100年の古民家を解体したときの古材です。木材は伐採されてから100年を超した頃が、最も強度を増すという研究結果があります。この古材もちょうどその頃ですね。年縞の歴史ともリンクして、とっても座り心地のいいベンチでした。

「北枕」っていいの？

風水学、いい「寝室」とはどんな部屋なんだろうといろいろ調べてみました。
風水の基本は「掃除と換気」なのですが、他に共通して書かれていたのが、なんと「北枕がいい」ということでした。
日本では北枕は縁起が悪いと言われますが、風水では北から南に向かって気が流れると考えられており、北枕は吉とされています。
知らなかった～！



「こあ 小上がり」と「フラット」どっちがいいの？



リフォームを検討中の奥様とお話してて、畳コーナーは「小上がり」か「フラット」かどっちがいいのか？となりました。

ちなみに「小上がり」というのは、飲食店などでよく見られるもので、フロアよりも一段高い場所に設けられた座敷のことです。一般住宅の場合には、リビングなどのフローリングの床よりも一段高い場所に設けた和室のことを言います。モノには必ず一長一短あるんですね。



メリットは、小上がりにすることで、下に収納が作れます。また、床の埃ほこりが入りにくくなります。ちょっと縁ふちに腰掛けたりするのも重宝しますね。

デメリットとしては、小さいお子さんがいらっしやると、落下の危険があります。お掃除ロボットは入れません(笑) また、スペース的に狭く感じることもあります。年齢とともに上り下りがきつくなるかもしれません。



こちらは、
段差のない
畳コーナーの
施工例です。

どちらにしても、一長一短ふまえたうえで、よくお考えくださいね^^

特別支援学校の生徒さんが木工体験に来てくださいました。みなさん、上手に作られてましたよ^^
せっかく遠くから来られたので、製材も見学してもらいましたよ。(写真下)

